

1. 原歌詞「十字架にかかりて苦しめるキリストの肢体への韻文の祈り」(ラテン語)の誕生

(1090-1153) クレルヴォーのベルナール ?
(1200-1250) レーヴェンのアールヌルフ ?
※今日では後者との説が有力

2. ルターによる宗教改革

1517年

1522年

マルティン・ルター(1483-1546)

ヴィッテンベルク95ヶ条の提題

信仰義認、聖書のみ、万人祭司

ドイツ語訳
新約聖書

讃美歌に関する施策の展開
コントラファクトゥア運動
※音楽では、世俗音楽をキリスト教会
の教会音楽として用いること。

数多くのコラールが誕生
※スイスの宗教改革とは対照的

3. メロディー(原曲)の誕生

1601年

ハンス・レーオ・ハスラー(1564-1612)

恋愛歌「私の心は千々に乱れ」として
作曲される。

三〇年戦争(1618-1648)

4. コラール「血しおしたたる」の誕生

1656年

パウル・ゲルハルト(1607-1676)

歌詞: 原歌詞のドイツ語訳(全10節)

メロディー: ハスラーの恋愛歌「私の心は千々に乱れ」

☆ コントラファクトゥアの成果

福音主義教会讃美
歌(EKG)63番

5. J.S.バッハ「マタイ受難曲」の誕生

1727年

ヨハン・セバスチャン・バッハ(1685-1750)

バッハ作曲「マタイ受難曲」が

1727年4月11日、ライプツィヒ聖トーマス教会で初演される

(1) バックボーンとして、ルター訳ドイツ語聖書マタイ26章1節～27章66節が
レシタディーボ(ことばの自然なリズムやアクセントを生かして語るような独唱)に
より歌われる。

(2) パウル・ゲルハルトのコラール「血しおしたたる」が編曲(和声付け)され受難曲の
テーマ曲的に扱われ、原歌詞のうち5つの節が5回、他のコラール歌詞を付して
1回、計6回歌われる。

1829年

メンデルスゾーン(1809-1847)

メンデルスゾーンによりマタイ受難曲の
歴史的復活上演が為される

ドイツから英米に広がり、
多くの讃美歌集に収録さる

6. 讃美歌136番「血しおしたたる」

1954年

歌詞は由木康による意識
和声はバッハによる編曲を採用

以後、数々の名演・名著・論文が輩出